

市民が行政に参加するには、行政が運営している民間移譲可能な行政施設を民間の運営に委ねることだと考えます。その理由は、何が適切な運営か、ということがそれらを使用する側の市民には判っているからです。

もう一つは、運営する上でのアイディアを出すことが出来、そのアイディアを具体化していくことが出来る行種力があるからです。

具体的に、私が日頃思っていることを示します。

1. 各市民館・財団法人の運営

問題点

現在、私の知る限りでは、市民館事業（講座の企画・実施要領、事業の企画・実施要領）は、すべて教育委員会で決められているようで、どの市民館も規模の大小はありますが同じ企画案で、同じ様に実施されています。

それらがユーザーである市民の要求にどれだけ合っているのか、地域生はどうか、現状の社会の動きにどれだけあっているのか、検討不足が目立ち、色々な面でちくはぐさが目立ちます。

改正提案

市民館事業の事業・講座企画を、秩序だった運営を考える市民グループと連携した運営にする。（市民主体の運営にしていくことを前提として）同時に各施設・備品の運用・使用管理も市民グループと連携した運営にする。（市民に任せる）

身近な例 1

2000年、IT事業拡大、市民教育と言う名目で各自治体に莫大な数のパソコンが、配布設置されました。その後「IT講座」のスケジュール終了に伴い、それらのパソコンは各市民館の倉庫（どこかに）にストックされ置かれていました。昨年、「市民企画事業」募集の際、パソコンを利用した事業を企画提案、それぞれの市民館で企画案は受理され、実施しました。その後、昨年10月から、各市民館は、「パソコン貸し出し自由」の実施を始めています。

その貸し出しの状態も、メンテナンスなし、インターネットなし、「使えなくなったら、そのとき貸し出し終了です」と市民館側は言っています。

身近な例 2

年度末になると、取得した（？）予算を消化するために、年初企画されていなかった講座、予定されていなかったソフト購入などが、どっと実施されます。購入ソフトは、その講座で使用した後、お蔵入りのようです。

市民の需要にあった、講座企画、必要ソフトの購入などがなされていない、現状だと思っています。

2. 各施設・設備の休日開放

市民館、市民館付設の駐車場など、市民館・図書館が休日に当たる時、何故お休みなのでしょうか？その前に市民のためにある市民館、図書館に何故休日があるのでしょうか？働いている職員のため、ということだと思いますが、何故うまくローテーション出来ないのでしょうか？市役所全体で考えれば人員は余っているのでは？

先回の市民委員会が多摩市民館で行われたときも、多摩市民館は、土曜日でしたが休日で、駐車場が使えず、外の有料駐車場を使いました。

産業振興会館で、パソコンセミナーが常設で行われています。先日行って見ましたが、3部屋に10台ぐらいのパソコンがあり、2部屋で、それぞれ3、4名の受講者がいました。もう一つの部屋は、閉じたまま。その日見ただけで現状の利用率は良く判りませんが、勿論休日はお休み。もっと効率よく利用するために、秩序だった企画・運営を提案することが出来る市民グループと連携した運営にすることは出来ないのだろうか。

3. 川崎国際生田緑地ゴルフ場の民営化

公営のゴルフ場は、国内にはそう多くないようです。これは次のテーマで言っていることと関連しますが、折角ある日本でも数少ない公営ゴルフ場という施設をなくしてしまうことはない、と考えます。如何に有効に利用できるかを考えていき、市民の楽しみの財産として運用していくことを提案します。

それには、やはり民営化だと思います。一般のゴルフ場と同じ体裁をとることを考えないで、クラブハウスなど立派なものがないでもいい、勿論キャディなど不要ですね。

いま、「川崎国際生田緑地ゴルフ場クラブハウス等立替」と言うことで、検討が進められているようですが、これから高齢化社会も進んで行く中で、セルフプレーで自由に安くゴルフが楽しめるよう、それが同時にみんなのレクリエーションの場として気軽に利用できるように考えてみたいと思います。

他市との関係

朝、新聞を開き、「川崎」面を見ると、半分以上川崎の記事ではなく横浜の記事が載っています。地図を見ても北から南に細長い土地は、南面を全部横浜市に接しています。多摩川と横浜市に挟まれて、人工的に政令指定都市でも特色のない市になっています。これは致し方ないことと思います。

小さな県に分断されている地方都市が、我も我もと空港を誘致したり、高速道路を引こうとしたりしていることの無駄を見て、土地的にも小さいし、すぐ横浜・東京 23 区といった街を控えている川崎としては、むしろ自分のところで何もかも完結したい、独立した都市になりたい、と思うより横浜市との行政的連携を（合併を見据えて）考えていくことは、どうなのでしょう。

ましてや、ミュージアムのような施設は全く不用であった、と思います。ああいう施設が川崎にあっても、なかなか生かしていくのは、大変です。あまりに近くにもっと利便で性能のいい施設があるから。